

(1) 校種間連携教育

【令和3年度事業予定】

- ・川越市教育の一層の充実のため、小・中学校等の校種間連携を進める。
- ・教育委員会と学校が車の両輪として教育を推進するために、定期的に学校訪問を行い、学校と教育委員会の意思疎通を図り、教育の充実に資する。

構成 小中連携 (下線は委嘱校)

グループ	学校名
1	川越第一中、初雁中、富士見中、 <u>山田中</u> 川越第一小、川越小、中央小、仙波小、月越小、今成小、 <u>山田小</u>
2	野田中、城南中、 <u>大東中</u> 、大東西中 <u>武蔵野小</u> 、新宿小、大塚小、泉小、 <u>大東東小</u> 、大東西小
3	芳野中、東中、 <u>南古谷中</u> 芳野小、古谷小、 <u>南古谷小</u> 、 <u>生子小</u>
4	高階中、砂中、 <u>福原中</u> 高階小、高階北小、 <u>福原小</u>
5	高階西中、 <u>寺尾中</u> <u>高階南小</u> 、高階西小、 <u>寺尾小</u>
6	<u>霞ヶ関中</u> 、霞ヶ関西中 <u>霞ヶ関小</u> 、 <u>霞ヶ関南小</u> 、霞ヶ関西小
7	霞ヶ関東中、 <u>川越西中</u> 霞ヶ関北小、霞ヶ関東小、 <u>川越西小</u>
8	<u>名細中</u> 、鯨井中、 <u>名細小</u> 、上戸小、 <u>広谷小</u>

※ ブロックをまたいで接続校と連携する場合もある。

中高連携 (下線は委嘱校)

学校名
<u>市立川越高</u> 、 <u>高階中</u> 、 <u>砂中</u> 、 <u>福原中</u>

中高特別支援教育連携

学校名
市立特別支援学校、初雁中、富士見中

※ 市立特別支援学校は、川越市の特別支援教育のセンターとして、他の小・中学校とも随時、必要に応じて連携する。

【令和2年度事業実績】

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、中学校生活に関するビデオレターを小学校へ送付したり、動画共有サイトへ投稿し、いつでも視聴可能な環境を整えたりするなど、ICTを活用した新たな取組を行う学校が見られた。

(2) かわごえミドルリーダー研修

【令和3年度事業予定】

・ミドルリーダーとして、教育に対する識見を高め、学校課題の分析と解決プランの立案、組織マネジメント、人材育成、危機管理等に必要な資質の向上を図ることを通して、学校運営を推進する人材を育成する。

- ①年間9回、3年で計27回の研修を行う。1年だけの受講も可。
- ②各年度の研修参加人数は30人程度とする。
- ③「かわごえ異業種体験研修」に替わり平成27年度より始まり、今年度7年目を迎える。

【令和2年度事業実績】

・年間6回の研修を実施し、12人が参加した。

(3) オールマイティーチャーター配置事業

【令和3年度事業予定】

・各学校の課題に応じて教員を配置し、生徒指導体制の充実やいじめの早期発見、学力向上に向け、子どもたち一人ひとりに応じたきめ細かな教育活動を推進する。

【令和2年度事業実績】

・小学校3校に3人、中学校9校に9人、計12人を配置した。

(4) 地域人材活用事業

【令和3年度事業予定】

・川越市立小・中・特別支援学校が特色ある学校づくりを推進していくため、指導体制を整え、多様な教育活動や体験活動が展開できるように、地域の方々と連携し、児童生徒の自主的・主体的な取組の一層の充実を図る。

【令和2年度事業実績】

- ① 実施回数……151回
- ② ご協力いただいた地域の方々……417人
- ③ 事業の一例……読み聞かせ・中学校運動部活動指導等

(5) 語学指導補助員（日本語指導）配置

【令和3年度事業予定】

・小・中学校における日本語指導が必要な外国人児童生徒等を対象に、語学指導補助員を派遣することにより、日本語の能力を向上させ、学習への理解を深め、学校生活により順応させることを図る。

【令和2年度事業実績】

- ① 市内小・中学校に在籍する児童生徒95人に語学指導補助員21人を派遣した。
- ② 派遣回数は延べ980回であった。

2. 教育指導課 Tel : 049-224-5483 E-mail : kyoikushido@city.kawagoe.saitama.jp

(1) 川越市中学生社会体験事業

【令和3年度事業予定】

- ・地域の中で社会体験活動や多くの人々とのふれあいを通して、みずみずしい感性や社会性、自立心を中学生に養うとともに、勤労観や働く人としての基礎的・基本的な素質や能力を育成し、生徒一人ひとりが自分の生き方を見つけ、たくましく豊かに生きる力を育むことをねらいとする。
- ①実施対象……中学校第1学年または第2学年の生徒
- ②実施場所……学区内の事業所を最優先とする。
- ③実施期間……各学校が設定した2～3日間

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

【令和2年度事業実績】

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

(2) トップアスリートふれあい事業

【令和3年度事業予定】

- ・近隣大学のスポーツ分野で活躍する教員・監督・コーチや学生を各市立小学校に招き、一緒に体を動かすことを通して、運動の楽しさを見童が実感するとともに、日常生活の中で主体的に運動、スポーツに親しむ態度や習慣を育成する。
- ①体育の授業やクラブ活動における指導及びふれあい活動
- ②全校の朝マラソンや持久走大会に向けての指導及びふれあい活動

【令和2年度事業実績】

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

(3) 科学わくわくラーニングプログラム～①小学生科学体験事業

【令和3年度事業予定】

- ・各市立小学校第6学年の見童を対象に、講演会等の体験活動を実施し、科学への興味・関心を醸成する。

※専門家等による講演会等

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

【令和2年度事業実績】

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

(4) 科学わくわくラーニングプログラム～②理科実験助手派遣事業

【令和3年度事業予定】

- ・理科実験助手を配置し、体験的な学習及び個別指導などを充実させ、児童の実験・実習の技能の向上、理科に対する興味・関心、知的好奇心や探究心を高める。(小学校11校、中学校7校)
- ①理科の実験・実習の準備や補助
- ②理科室・理科準備室の整備等

【令和2年度事業実績】

- ・13人の理科実験助手を、小学校12校、中学校11校に配置（重複有）
- ・23校で合計454回（1回につき4時間・年間20回）程度派遣

（5）科学わくわくラーニングプログラム～③小・中・大学連携理科ふれあい事業

【令和3年度事業予定】

- ・理科の授業等に大学理系学部の教員・大学院生・大学生を派遣し、最新の方法で実験や観察を行い、児童生徒の興味・関心、意欲を醸成する。（3大学と連携 各市立小・中学校長からの申請に基づき、必要に応じて配置）
 - ①授業内容に応じた実験・観察、発展的な実験・観察
 - ②特別活動、総合的な学習の時間等における、児童生徒の興味・関心に応じた実験・観察

【令和2年度事業実績】

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

（6）川越市中中学生学力調査

【令和3年度事業予定】

- ・義務教育の学習内容の定着状況を把握し、教育の成果を検証する川越市独自の調査とするとともに、進路指導の充実に資する。また、各学校及び教育委員会が教育指導上の課題を把握し、指導方法の工夫改善を図る資料とする。
 - ①調査対象・・・全市立中学校22校の第3学年生徒全員
 - ②調査対象教科・・・国語・数学・社会・理科・英語
 - ③調査実施予定日・・・第1回9月2日、第2回10月6日、第3回11月1日

【令和2年度事業実績】

- ・第3学年を対象に、第1回調査を9月2日、第2回調査を10月1日、第3回調査を11月4日に実施した。

（7）学校図書館学校司書配置

【令和3年度事業予定】

- ・学校図書館教育の充実に資するため、学校司書を配置する。学校司書は、校長の指示の下に、概ね以下の活動を行う。
 - ①学校図書館図書を受け入れ・廃棄・配架・貸し出し・返却等の事務
 - ②学校図書館の美化・整理事務
 - ③児童生徒の読書意欲の喚起や資料提供
 - ④児童生徒や教職員への資料提供

【令和2年度事業実績】

- ・市立小・中・特別支援学校の全校に学校司書を配置（合計28人）
- ・学校司書の研修会を年2回開催（書面開催）

(8) ネットパトロール事業

【令和3年度事業予定】

- ・市内の全市立中・高等学校を対象に、生徒をネット上のいじめ等から守るために、学校非公式サイト等の検索及び書き込み等の監視をするとともに、24時間体制でいじめ等の相談や情報提供を受け付けるインターネット上の窓口を開設し、適切に対処する。

【令和2年度事業実績】

- ・市内の全市立中学校22校、市立高等学校を対象に、学校非公式サイト等の検索及び書き込み等の監視を通年で行った。

- ・1件の報告

悩み（学校生活）	0件	いじめに関する投稿	0件
不適切な内容	1件		

※学校に報告、指導・対応済み

(9) 学校教育の情報化の推進

【令和3年度事業予定】

- ・現行の川越市学校教育情報化推進計画が終期を迎えるため、教育委員会全体を横断的に見渡して本計画を見直し、次期計画を策定する。
- ・児童生徒や教職員がGIGAスクール構想において配備された情報機器等を円滑に活用することができるよう、配備された機器の使用方法をまとめたマニュアル類の提供や、様々な場面に応じた実践例の紹介等を行う。
- ・市立小・中学校のすべての学級でICTを効果的に活用した授業が行われるよう、授業にICTを活用して指導する能力、児童生徒のICT活用を指導する能力、情報活用の基盤となる知識や態度について指導する能力等を向上させる研修会を実施する。

【令和2年度事業実績】

- ・GIGAスクール構想に対応するため、超高速インターネット回線を全小・中学校54校に整備するとともに、全児童生徒に一人一台となるよう学習者用コンピュータを整備した。併せて各教室へ電子黒板の調達業務を実施した。
- ・希望者を対象とした研修を4講座実施し、教員がICTを活用する上で基盤となる技能の向上を図った。また、全学校を対象としたGIGAスクール構想を実現するための管理面・使用面での研修を実地及びオンライン形式で計6回実施した。
- ・市立小・中学校において児童生徒が情報活用能力を身に付けることができるよう、小・中学校の年間指導計画事例を作成し、教員の指導力向上に努めた。

※令和3年度より、教育センターから教育指導課へ事務移管した。

学校保健

①令和3年度 学校保健関係行事

○ 児童生徒定期健康診断	(4月～6月)
○ 児童生徒心臓検診	(4月～5月)
○ 教職員健康診断	(4月～8月)
○ 保健主事研修会・養護教諭研修会	(4月～3月)
○ 学校飲料水検査	(5月)
○ B型肝炎予防接種(養護教諭)	(6月～3月)
○ 学校環境衛生一斉検査	(前期6月～10月、後期1月～2月)
○ 学校プール水質検査	(6月～8月)
○ 川越市学校保健会総会(書面会議)	(7月)
○ 小児生活習慣病予防検診	(7月～9月)
○ 教室等の空気検査	(7月～8月)
○ 学校環境衛生検査器具取扱い講習会	(7月)
○ 学校歯科保健優良校地区審査会	(9月)
○ 砂場の細菌検査	(9～10月)
○ 就学時健康診断	(10月～11月)
○ 歯科保健指導	(10月～12月)
○ 歯科保健指導者研修会	(11月)
○ 埼玉県学校健康教育推進大会	(1月)
○ 学校保健会理事会	(3月)

II 学校教育 教育指導課

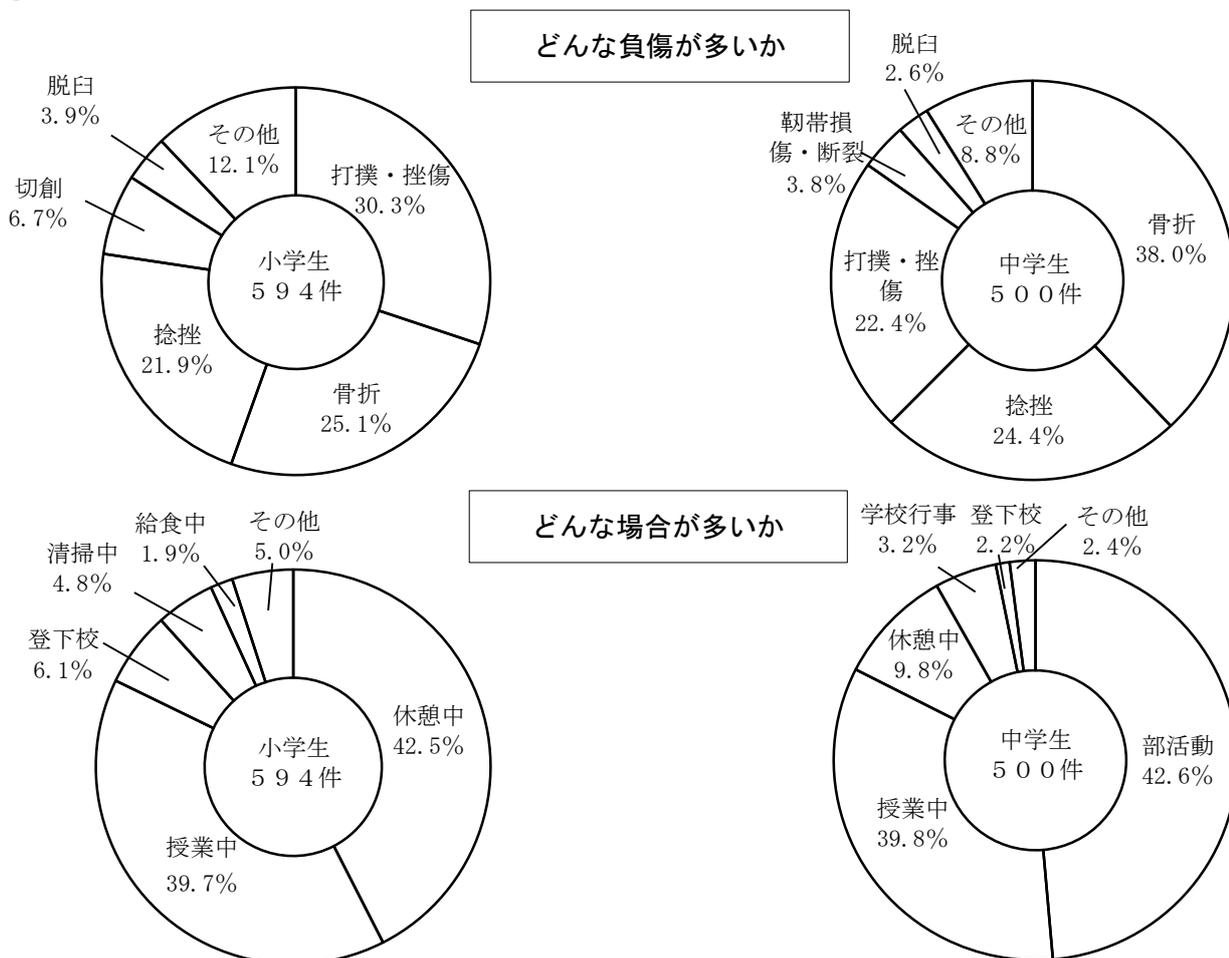
②令和2年度 日本スポーツ振興センター災害共済給付状況（医療費）

（単位：円）

月別	小学校		中学校		特別支援学校・市立高校		件数計	金額計
	件数	給付額	件数	給付額	件数	給付額		
4	130	891,514	103	727,869	11	329,082	244	1,948,465
5	39	214,476	62	413,592	1	6,100	102	634,168
6	38	228,482	41	637,231	18	137,942	97	1,003,655
7	30	206,456	35	335,646	11	51,340	76	593,442
8	33	195,844	38	256,872	13	53,296	84	506,012
9	64	627,681	117	866,972	7	77,914	188	1,572,567
10	50	378,108	119	1,535,077	20	112,614	189	2,025,799
11	100	757,460	134	948,669	16	96,943	250	1,803,072
12	110	749,211	104	784,654	21	99,388	235	1,633,253
1	96	862,053	93	710,178	26	127,144	215	1,699,375
2	187	1,104,682	129	894,490	5	167,817	321	2,166,989
3	174	1,209,830	89	676,594	21	102,240	284	1,988,664
計	1,051	7,425,797	1,064	8,787,844	170	1,361,820	2,285	17,575,461

※平成31年度給付総計 2,928件 21,741,535円
 平成30年度給付総計 3,303件 23,986,796円
 平成29年度給付総計 3,503件 26,764,935円
 平成28年度給付総計 3,314件 25,134,273円

③令和2年度 事故発生件数（日本スポーツ振興センターにかかわる事故による）



II 学校教育 教育指導課

⑤児童生徒の「新体力テスト」平均値

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年度は実施していない。

※参考として、令和元年度の数値を掲載。

(令和元年度)

種目名	学 校		小 学 校						中 学 校		
	学 年		1	2	3	4	5	6	1	2	3
50m走(秒)	川越市	男子	11.57	10.77	10.18	9.76	9.40	8.91	8.56	7.94	7.49
		県	11.47	10.64	10.10	9.68	9.31	8.89	8.53	7.92	7.51
	川越市	女子	11.89	11.12	10.51	10.03	9.60	9.19	8.93	8.60	8.50
		県	11.79	10.97	10.41	9.93	9.51	9.12	8.94	8.62	8.53
立幅とび(cm)	川越市	男子	115.46	121.55	134.74	145.03	154.24	164.17	177.84	196.48	211.35
		県	116.67	128.37	138.70	147.96	156.57	167.16	181.94	200.67	214.90
	川越市	女子	107.47	114.73	127.94	139.50	147.49	156.62	165.93	176.01	178.08
		県	109.52	121.28	131.75	142.19	151.90	161.07	169.25	177.45	179.85
ボール投げ(m)	川越市	男子	8.06	10.56	13.75	17.52	20.37	23.52	17.75	21.23	23.95
		県	8.18	11.11	14.33	17.62	20.79	24.20	17.80	21.07	24.02
	川越市	女子	5.74	7.30	9.17	10.98	13.14	15.37	11.67	13.52	14.59
		県	5.84	7.61	9.54	11.65	13.74	15.79	12.10	13.92	15.02
握力(kg)	川越市	男子	9.09	10.28	12.26	14.34	16.05	19.18	23.66	29.12	34.11
		県	9.26	10.92	12.68	14.48	16.54	19.32	23.60	29.35	34.47
	川越市	女子	8.69	9.87	11.75	13.75	15.98	19.08	22.13	25.03	26.49
		県	8.80	10.42	12.08	13.97	16.38	19.36	22.04	24.90	26.40
上体起こし(cm)	川越市	男子	12.08	15.79	18.02	20.43	22.08	23.76	25.84	30.02	32.82
		県	12.67	15.99	18.26	20.26	22.03	23.84	25.95	29.87	32.53
	川越市	女子	11.76	15.37	17.39	19.34	21.23	22.60	23.76	27.36	29.07
		県	12.19	15.41	17.69	19.63	21.48	22.79	23.89	27.22	28.81
長座体前屈(cm)	川越市	男子	26.47	28.13	30.65	31.55	34.38	37.48	41.58	47.33	50.96
		県	27.18	29.08	31.29	33.06	35.37	37.84	42.41	47.82	51.71
	川越市	女子	29.19	30.79	34.29	36.07	39.23	43.12	45.25	50.72	52.38
		県	29.62	32.11	34.76	37.20	40.13	43.58	46.60	50.61	53.14
反復横とび(回)	川越市	男子	27.59	30.54	34.64	39.44	43.01	46.56	48.26	52.52	55.29
		県	28.68	32.77	36.70	41.00	44.64	47.66	49.33	53.32	56.03
	川越市	女子	26.33	28.69	33.25	37.71	41.37	44.35	45.46	48.35	48.66
		県	27.35	31.23	34.94	39.26	43.01	45.70	46.50	48.97	49.47
20mシャトルラン(指数)	川越市	男子	20.40	29.28	39.15	48.81	54.88	64.27	-	-	-
		県	22.69	32.86	41.59	49.50	56.06	63.76	-	-	-
	川越市	女子	18.17	22.96	30.88	39.27	45.58	52.38	-	-	-
		県	19.39	26.18	32.88	40.25	47.64	53.43	-	-	-
持久走(分秒)	川越市	男子	-	-	-	-	-	-	6分55秒27	6分18秒05	6分3秒73
		県	-	-	-	-	-	-	6分55秒06	6分20秒98	6分6秒73
	川越市	女子	-	-	-	-	-	-	4分50秒08	4分35秒52	4分36秒54
		県	-	-	-	-	-	-	4分49秒55	4分37秒18	4分37秒63

※小学校は、20mシャトルラン。中学校は、持久走。

※持久走の距離は、男子が1,500m、女子が1,000m。

3. 学校給食課 Tel : 049-223-6035 E-mail : gakokyushoku@city.kawagoe.saitama.jp

施設名	所在地	電話	ファクス	建築年度
菅間学校給食センター	菅間 18 - 9	223-3038	223-0935	平成17年
菅間第二学校給食センター	菅間 18 - 1	229-6670	229-5105	平成29年
今成学校給食センター	今成 2 - 35 - 5	223-0891	226-4556	昭和44年 ※H5改築

令和3年度学校給食センター別給食数及び担当校一覧 (令和3年5月1日現在)

センター名	給食数	小・中別	対象校
菅間学校給食センター (※給食規模：12,000食)	11,558食	小学校 20校	川越第一・川越・中央・仙波・武蔵野・大塚・泉・月越・今成・芳野・古谷・南古谷・牛子・寺尾・大東東・大東西・霞ヶ関東・上戸・広谷・山田
菅間第二学校給食センター (※給食規模：12,000食)	7,334食	小学校 12校	新宿・高階・高階南・高階北・高階西・福原・霞ヶ関・霞ヶ関南・霞ヶ関北・霞ヶ関西・川越西・名細
	4,855食	中学校 11校 特別支援学校 1校	初雁・城南・芳野・東・南古谷・高階・高階西・砂・寺尾・福原・山田・特別支援学校
今成学校給食センター (※給食規模：6,000食)	4,615食	中学校 11校	川越第一・富士見・野田・大東・大東西・霞ヶ関・霞ヶ関東・霞ヶ関西・川越西・名細・鯨井
合計	28,362食	55校	

(1) 学校給食・食育の充実

①食育の推進

【令和3年度事業予定】

- ・ 創意工夫を生かした楽しい食事の場を提供し、児童生徒が生涯健康で充実した生活を送るための基礎知識を身に付けるため、食に関する指導の充実を図る。
- ・ 学校給食を通して望ましい食習慣、食べる物に対するありがたさ、食事ができることへの感謝の気持ちを培い、好ましい人間関係の育成に努める。

【令和2年度事業実績】

- ・ 映像資料を作成し、小学校第2学年約2,900人を対象に、食に関する指導を行った。

②給食指導、給食への理解

【令和3年度事業予定】

- ・ 学校給食を通して家庭・地域との連携を図り、食に関する指導の推進に努める。
- ・ 児童生徒の食生活の基本である家庭との連携を図るため、給食内容や食生活の指導等を中心とした「給食だより」などを発行する。

※親子で参加する夏休み料理教室等については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

【令和2年度事業実績】

- ・ 「給食だより」を年4回発行した。

③試食会

【令和3年度事業予定】

- ・児童生徒の保護者等に学校給食への理解を深めてもらうこと、学校給食の普及・充実を図るために実施する。

【令和2年度事業実績】

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

④地場農産物

【令和3年度事業予定】

- ・米をはじめとして、ほうれん草、小松菜、チンゲン菜、人参、枝豆、とうもろこしなどの川越産農産物や旬の食材を献立に取り入れ、季節感のある魅力的な献立の充実に努める。

【令和2年度事業実績】

- ・川越産米の使用実施は約223tであり、使用割合は100%である。
- ・地場農産物や旬の食材を導入するなど、特色ある献立の充実に努めた。(令和2年度は米、ほうれん草、小松菜、チンゲン菜、人参、枝豆、とうもろこしなど16品目の川越産農産物を使用した。)

⑤学校給食施設の整備

【令和3年度事業予定】

- ・PFI方式で整備した菅間第二学校給食センターの維持管理状況について検査する。
- ・菅間学校給食センター及び今成学校給食センターの適切な維持管理を行い、安全・安心な学校給食の提供を行う。

【令和2年度事業実績】

- ・PFI方式で整備した菅間第二学校給食センターの維持管理状況について検査を行った。
- ・菅間学校給食センター及び今成学校給食センターの施設設備の改修を計画的に実施した。

⑥食材の安全確保、学校給食食材の放射性物質検査

【令和3年度事業予定】

- ・安全、安心でおいしい学校給食のために、食材料の安全確保に努める。
- ・学校給食の安全性について市民の皆様に更に安心していただくため、食材の放射能検査機器を用いて、毎日3品目程度の食材と1食分の完成品について、放射性物質の自主検査を実施する。

【令和2年度事業実績】

- ・489品目の食材と173食分の完成品について放射性物質の自主検査を実施した結果、すべて不検出となっている。

学校給食費

・給食費は、金融機関による口座引き落とし（一部納付書払い）により、児童生徒の保護者から徴収している。

①学校給食費

区分	月額	年額	徴収月数	給食日数	1食当たり単価	備考
小学校	4,350円	47,850円	11か月	190日	251円84銭	平成27年4月改定
中学校	5,250円	57,750円	11か月	190日	303円94銭	平成27年4月改定

②1食当たり単価（保護者負担額）

区分	主食	牛乳	副食	計
小学校	46円21銭	200cc 53円13銭	152円50銭	251円84銭
中学校	59円15銭	200cc 53円13銭	191円66銭	303円94銭

学校給食摂取基準

・学校給食の食事内容については、文部科学省の「学校給食摂取基準」に基づく栄養的にバランスのとれた献立内容の充実に努めている。
 現行の基準は平成30年8月に改定され、次のように定められている。

区分	小学校児童の場合			中学校生徒の場合
	低学年（6～7歳）	中学年（8～9歳）	高学年（10～11歳）	
エネルギー (kcal)	530	650	780	830
たんぱく質 (%)	学校給食による摂取エネルギー全体の13～20%			
脂質 (%)	学校給食による摂取エネルギー全体の20～30%			
ナトリウム（食塩相当量）(g)	2未満	2未満	2.5未満	2.5未満
マグネシウム (mg)	40	50	70	120
カルシウム (mg)	290	350	360	450
鉄 (mg)	2.5	3	4	4
ビタミンA (μg RE)	170	200	240	300
ビタミンB1 (mg)	0.3	0.4	0.5	0.5
ビタミンB2 (mg)	0.4	0.4	0.5	0.6
ビタミンC (mg)	20	20	25	30
食物繊維 (g)	4以上	5以上	5以上	6.5以上

※表に掲げるもののほか、次に掲げるものについてもそれぞれ示した摂取について配慮すること。

亜鉛……………児童(6～7歳)2mg・(8～9歳)2mg・(10～11歳)2mg、生徒(12～14歳)3mg

Ⅱ 学校教育 教育センター

4. 教育センター Tel : 049-235-7591 E-mail : kyoikucenter@city.kawagoe.saitama.jp

(1) 名称 川越市立教育センター

(2) 所在地 川越市古谷上6083-10 (電話 049-235-7591・ファクス 049-230-1023)

(3) 沿革

昭和56年 8月1日 川越市立教育研究所準備室を設置する。

昭和61年 4月1日 川越市立教育研究所を開設する。

平成12年 4月1日 川越市教育総合相談センター(リベール)を開設する。

平成15年 4月1日 中核市移行に伴い、学校教育部教育研究所に組織改編される。管理係、研修係、教育相談係を置く。

平成19年 4月1日 組織改編に伴い係を廃止し、管理担当、研修担当、教育相談担当を置く。

平成21年 4月1日 旧川越市立古谷東小学校を教育研究所施設とする。

平成22年 4月1日 川越市立教育研究所を廃止し、川越市立教育センターを設置する。併せて、川越市立教育センター分室(リベール)を設置する。

平成27年 4月1日 いじめ相談直通電話を教育センター分室(リベール)から移設する。

令和元年10月1日 川越市立教育センター分室(リベール)を教育センター第一分室(リベール)とし、あけぼの・ひかり児童園旧園舎に川越市立教育センター第二分室を設置する。

(4) 業務内容

＜センター研修及び学校の要請に基づく研修に関すること＞

① 各経験者研修(初任者、5年、中堅教諭等、20年)や各教科研修等の企画・運営

＜教育に関する専門的、技術的事項の調査研究に関すること＞

① 学力向上に関する調査・研究

② 小学校外国語活動・外国語科・中学校英語に関する調査・研究

③ 不登校に関する調査・研究

④ 特別支援教育推進に関する調査・研究

＜教育に関する資料の収集及び提供に関すること＞

① 図書、研究物の収集整理に関すること

② 学習指導関係資料の収集整理に関すること

③ 雑誌、パンフレット等の収集整理に関すること

④ 上記の資料等の利用、提供に関すること

(1) 教職員の資質向上

【令和3年度事業予定】

・経験者研修、特定研修、専門研修、教育フェスタKAWAGOEの充実を図る。

【令和2年度事業実績】

令和2年度川越市主催研修・埼玉県主催研修参加者一覧

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一部研修を中止した。

		研修区分	研修概要	参加者数(人)
川越市 主催	1	経験者研修	教員の経験段階に応じた研修である。特に、初任者研修、中堅教諭等資質向上研修は、法定研修であり、5年経験者研修、20年経験者研修とともに本市の特色ある研修である。	434
	2	特定研修（指定）	学校の教育推進のために、各学校の教育課題の解決を図るため、指定された対象者に対して実施する研修である。	1,256
	3	専門研修（希望研修）	教科・領域等研修で、教職員の資質向上のために希望して参加できる研修である。外国語活動や道徳など新学習指導要領に対応する研修等教員のニーズに応える研修である。	253
	4	管理職研修	校長、教頭等の管理職や管理職候補者を対象とした研修である。	198
	5	要請研修	学校の要請に応じて支援援助し、指導力の向上を図る研修である。	1,247
	6	特別研修	教職員一人一人が主体的に学び、資質・能力の向上を図る研修で、「教育フェスタKAWAGOE」として実施している。	中止
川越市合計				3,388
埼玉県 主催	総合 教育 セン ター	特定研修（推薦）		3
		管理職研修（3事業）		31
		専門研修（希望）		2
		年次研修		3
		総合教育センター小計		39
	各課 研修	人権教育課		112
		義務教育指導課		0
		高校教育指導課		0
		保健体育課		10
		特別支援教育課		33
		生徒指導課		0
		小中学校人事課		63
		県立学校部県立学校人事課		0
		教職員採用課		0
各課小計		218		
埼玉県合計				257
川越市・埼玉県合計				3,645

※その他、県教委や民間等の研修に、本人の希望や市教委の推薦（または選考）により参加する研修がある。

Ⅱ 学校教育 教育センター

(2) 英語指導助手の配置事業の充実と活用

【令和3年度事業予定】

- ・英語によるコミュニケーション能力の育成を図り、「聞くこと」「話すこと」等の技能を伸ばすため、市立小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校に配置されている英語指導助手の活用方法の充実を図る。
- ・英語指導助手を対象とした研修会や全学校への英語教育推進訪問を実施し、外国語活動・外国語科の指導方法の工夫・改善、児童生徒とのよりよい接し方等について、英語指導助手の資質向上を図る。

【令和2年度事業実績】

- ・現地採用5人、KET2人、JET6人、派遣契約17人の英語指導助手(AET)を配置した。

<訪問実績>

- ・英語指導助手(AET)30人
- ・AETとの共同授業による1日平均授業時数(時間) 小学校 4.8 中学校 4.2
- ・AETの1校あたりの年間訪問日数(日) 小学校 89.4 中学校 82.5
- ・AETの年間訪問日数(日)
小学校 2,863 中学校 1,815 市立川越高等学校 143 市立特別支援 14 合計 4,835

英語指導助手配置状況の推移

(単位:人)

	H3	H4 ~7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18 ~21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
JET	1	1	1	2	2	2	3	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	6	6
KET	2	3	5	5	6	7	7	8	10	8	5	5	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
現地	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	3	3	5	4	5	3	3	4	4	5	5	5	5	5
業務委託	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5	9	11	13	14	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
派遣	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	14	16	16	16	17	17	17	17	17	17
合計	3	4	6	7	8	9	10	11	13	15	17	19	21	21	21	21	21	22	23	24	24	30	30	30

※JET(語学指導等を行う外国青年招致事業) KET(川越市姉妹都市交流事業) 現地(川越市在住外国人)

委嘱学校研究等一覧

1. 川越市教育委員会研究委嘱校（2年目）

学校名	教科等	発表予定日	研究主題
①川越第一中学校	学年・学級 経営	11月16日(火)	生徒同士の関わりを深める学級活動 ～居心地のよい学級づくり～
②霞ヶ関西小学校	安全教育	10月18日(月) 11月1日(月) 11月15日(月) 12月6日(月)	主体的に行動できる児童生徒の育成を目指す安全教育の 推進
③霞ヶ関西中学校	安全教育	10月13日(水) 11月10日(水) 12月1日(水)	主体的に行動できる児童生徒の育成を目指す安全教育の 推進
④山田小学校	体育	11月2日(火) 11月5日(金)	ひたむきに運動に取り組む山田っ子の育成 ～体育の楽しさを実感できる体育授業～

2. 川越市教育委員会研究委嘱校（1年目）

学校名	教科等	研究主題
①川越第一小学校	その他	自分の考えをもち、自信をもって発信できる児童の育成
②今成小学校	未定	学び合い、高め合い、鍛え合う児童の育成 ～学びかがやく指導を通して～
③霞ヶ関小学校	情報活用	主体的・対話的で深い学びの視点に立つ授業改善 ～情報端末の活用を通して～
④初雁中学校	外国語	小・中学校を通じた英語教育の充実

※委嘱学校研究校は2年計画で行っている。

2年目の4校は令和2年度、令和3年度の委嘱学校研究校、1年目の4校は令和3年度からの委嘱学校研究校

3. 文科省委託事業（埼玉県教育委員会再委託事業）

学校名	事業名
月越小学校	小・中・高等学校を通じた英語教育強化事業
初雁中学校	
霞ヶ関小学校	「学校安全総合支援事業（学校安全推進体制の構築）」
霞ヶ関南小学校	
霞ヶ関西小学校	
霞ヶ関中学校	
霞ヶ関西中学校	

II 学校教育 教育センター分室

5. 教育センター第一分室(リバーラ) Tel : 049-234-8333 E-mail : rivera@city.kawagoe.saitama.jp
教育センター第二分室 Tel : 049-224-7788

- (1) ①川越市立教育センター第一分室(リバーラ)
②川越市立教育センター第二分室
 - (2) 所在地 ①川越市的場2649-1(電話 049-234-8333・ファクス 049-234-8337)
②川越市宮下町1-19-12(電話 049-224-7788)
 - (3) 沿革
昭和39年 川越市教育相談室を川越小学校内に開設する。
昭和53年 中央小学校内に移設(川越小学校校舎改修のため)する。
昭和55年 初雁中学校内に移設(中央小学校校舎改修のため)する。
昭和56年 川越小学校内に移設(川越小学校新築に伴い)する。
昭和58年 電話相談室を川越小学校内に開設する。
平成元年 学校カウンセラー室を川越小学校内に開設する。
平成6年 学校適応指導教室を中央公民館内に開設する。
平成12年 川越市教育総合相談センター・リバーラを開設する。
平成15年 中核市移行に伴い、学校教育部教育研究所所管となる。
平成18年 いじめ相談直通電話を開設する。
平成22年 川越市立教育センター分室(リバーラ)に名称を変更する。
平成25年 いじめ相談電子窓口を開設する。
平成27年 いじめ相談直通電話を川越市立教育センターに移設する。
令和元年 川越市立教育センター分室(リバーラ)を教育センター第一分室(リバーラ)とし、あけぼの・ひかり児童園旧園舎に川越市立教育センター第二分室を設置する。
 - (4) 設置の目的
児童生徒の多様な悩み等に対して、本人、保護者及び教職員にその望ましい在り方や解決について援助し、不適応を改善するとともに、それぞれの人格の成長及び自己実現を図る。
 - (5) 教育相談の内容等
 - ① 相談内容
 - ・ことばや発達の遅れに関するもの
 - ・性格や行動に関するもの
 - ・不登校傾向など学校への不適応に関するもの
 - ・その他
 - ・精神的な不安や身体に関するもの
 - ・学齢期のしつけ等に関するもの
 - ・非行・問題行動に関するもの
 - ② 相談受理対象者
川越市内に居住する幼児児童生徒及びその保護者並びに川越市立学校教職員
 - ③ 相談日時
月曜日から金曜日(祝休日を除く)、(受付時間 午前9時～午後5時)
 - ④ 電話相談
月曜日から金曜日(祝休日を除く)、(受付時間 午前9時～午後4時)
 - ⑤ 適応指導教室(小学生及び中学生対象教室)
<開設日及び開設時間>
 - ・開設日 月曜日から金曜日(祝休日を除く)
 - ・開設時間 午前9時30分～午後3時<通室までの手順及び手続き>
 - ・直接または校長と相談のうえ申込み→面接相談→体験通室→通室申請→通室決定
- (川越市立教育センターにおいて開設)
- ① いじめ相談直通電話
月曜日から金曜日(祝休日を除く)、(受付時間 午前9時～午後5時)
土曜日・日曜日・祝休日(12月29日～1月3日を除く)、(受付時間 午前9時～正午)
 - ② いじめ相談電子窓口
川越市公式ホームページから電子メールで相談する。

(1) 不登校対策の推進

【令和3年度事業予定】

- ・小・中学校における不登校問題の解消に向けて、「いきいき登校サポートプラン」を推進し、学校、家庭、多様な立場の専門家、地域が連携し、一体となった取組を進める。地元の大学で心理学を学ぶ学生（スチューデント・サポーター）については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から実施しない。

【令和2年度事業実績】

- ・臨床心理士を週1回、教育センター第一分室（リバーラ）に配置し、特に配慮を要する難しいケースについてより専門的な対応を実施できた。
- ・いじめ・不登校対策検討委員会において、早期発見・早期対応に向けた校内研修用のスライド資料（音声付き）を作成し、活用について各市立小・中学校へ周知することができた。

(2) 教育相談の充実

【令和3年度事業予定】

- ・教育に関する悩みや心配を抱えている保護者や小学生、中学生等の支援を行う。
- ・全市立中学校に配置している、さわやか相談員の活用を図り、不安や悩みをもつ生徒が相談しやすい教育相談体制を推進する。
- ・スクールカウンセラーや教育センター第一分室（リバーラ）の臨床心理士、スクールソーシャルワーカーなど、専門的知識を有する人材を活用し、児童生徒、保護者に対する教育相談体制の充実を図る。

【令和2年度事業実績】

- ・リバーラにおける教育相談は、延べ3,048件あった。そのうち面接相談の件数は、2,849件、電話相談126件、いじめ相談直通電話12件、いじめ相談電子窓口0件、定期相談61件だった。臨床心理士の指導・助言を得ながら、より適切な相談活動を行うことができた。
- ・全市立中学校に1人ずつ配置したさわやか相談員が、児童生徒、保護者等延べ13,779人の相談に対応した。
- ・小・中学校に配置されているスクールカウンセラーが、児童生徒やその保護者への面接、教職員への助言など、併せて8,800回の相談を行った。

(3) 特別支援教育の充実

①一人ひとりのニーズに応じた指導や支援の充実

【令和3年度事業予定】

- ・校内の特別支援教育体制を充実させるとともに、学級運営支援員の活用を図り、通常の学級における支援の推進に努める。（令和2年度より教育センター「自立支援サポーター配置事業」と教育指導課「スクールランチ作戦事業」を統合）
- ・小・中学校に設置している特別支援学級の児童生徒や通常の学級にいる車椅子等の障害のある児童生徒一人ひとりの障害の特性等に配慮した指導・支援の充実に努める。

【令和2年度事業実績】

- ・各校からの報告によると、通常の学級に在籍する児童生徒の中で、いじめ及び不登校等生徒指導上の対応や、学習障害（LD）、注意欠如多動性障害（ADHD）、自閉症スペクトラム（ASD）などの発達障害等で個別の配慮や支援を必要としている児童生徒数は、年々増加している。
- ・通常の学級で配慮を要する児童生徒や、各学校の実態に応じて2～4日の範囲で、学級運営支援員を配置した。
- ・通常の学級で配慮を要する児童数2,378人 通常の学級で配慮を要する生徒数797人
- ・特別支援学級でも通常の学級でも、個々の教育的ニーズに対応する児童生徒数は増加しており、人的環境を整えることで、学校運営を支援することができた。

②就学支援の充実

【令和3年度事業予定】

- ・幼児や児童生徒のよりよい学びの場の提供のため、各関係機関と情報交換を行い、就学支援委員会の意見をもとに、本人及び保護者との就学相談の一層の充実を図る。

Ⅱ 学校教育 教育センター分室

【令和2年度事業実績】

- ・就学相談が必要な児童生徒に対して、諸検査の実施や学校訪問による観察、就学前施設への聞き取り等を通して、状況を的確に把握し教育的ニーズに応じた就学先の意見を導き出した。
- ・就学支援委員会で出された意見と異なる就学先を希望する保護者に対しては、継続の相談を行い、教育的ニーズに応じた就学先を決定できるようにした。
- ・就学支援委員会実施回数 9回 就学相談実施人数 372人

③特別支援教育の理解・啓発の推進

【令和3年度事業予定】

- ・教職員に対する特別支援教育に係る研修を充実させ、特別支援教育への理解と啓発を図る。
- ・保護者・地域・関係機関向けのセミナーの開催や特別支援学級授業公開を積極的に行い、より多くの方への特別支援教育の理解に努める。

【令和2年度事業実績】

- ・特別支援教育に係る管理職等研修会、特別支援教育コーディネーター研修会、特別支援学級新担当教員研修会、特別支援学級の担当者養成研修会、通級指導教室担当者研修会等、特別支援に係る8つの研修を実施した。
- ・保護者向けセミナーの実施回数 4回 特別支援学級授業公開の参加人数 81人

さわやか相談室

(1) 川越市さわやか相談員の活動場所及び活動内容

- ① 活動場所…主に全市立中学校に設置されているさわやか相談室
- ② 活動内容…相談室における教育相談、小学校訪問、不登校児童生徒の家庭訪問など

(2) 相談内容

- ① いじめや不登校の問題をはじめ、友人関係や性格・行動等、児童生徒の心の悩みの相談
- ② 児童生徒のことで悩んでいる保護者の相談

(3) 相談日時

月曜日から金曜日（各学校の相談室で定めた時間）

学 校 名	さわやか相談室電話番号（直通）	学 校 名	さわやか相談室電話番号（直通）
川越第一中学校	223-8022	砂 中 学 校	246-1322
初 雁 中 学 校	225-8022	福 原 中 学 校	247-0022
富 士 見 中 学 校	248-6722	大 東 中 学 校	247-1322
野 田 中 学 校	241-2322	大 東 西 中 学 校	248-1722
城 南 中 学 校	248-6822	霞ヶ関中学校	231-7322
芳 野 中 学 校	226-8722	霞ヶ関東中学校	232-0622
東 中 学 校	235-2622	霞ヶ関西中学校	233-3722
南古谷中学校	235-1722	川越西中学校	233-6622
高 階 中 学 校	243-2122	名 細 中 学 校	231-8822
高階西中学校	243-8122	鯨 井 中 学 校	233-6822
寺 尾 中 学 校	247-0522	山 田 中 学 校	226-5022

特別支援学級

1. 知的障害特別支援学級：知的な障害のある児童生徒を対象に設置

(小学校)

学校名	学級数	学校名	学級数
川 越 小 学 校	1	中 央 小 学 校	1
仙 波 小 学 校	1	武 蔵 野 小 学 校	2
大 塚 小 学 校	2	泉 小 学 校	1
月 越 小 学 校	1	古 谷 小 学 校	2
南古谷小学校	2	牛 子 小 学 校	1
高 階 小 学 校	1	高 階 南 小 学 校	1
高階北小学校	2	高 階 西 小 学 校	1
福 原 小 学 校	1	霞ヶ関小学校	2
霞ヶ関北小学校	1	霞ヶ関西小学校	1
名 細 小 学 校	2	広 谷 小 学 校	1
山 田 小 学 校	1		

(中学校)

学校名	学級数	学校名	学級数
初雁中学校	1	富士見中学校	2
東中学校	1	高階中学校	2
寺尾中学校	1	砂中学校	1
霞ヶ関中学校	1	霞ヶ関西中学校	1
名細中学校	2		

2. 自閉症・情緒障害特別支援学級：自閉症や情緒に障害のある児童生徒を対象に設置
(小学校)

学校名	学級数	学校名	学級数
川越小学校	4	中央小学校	2
仙波小学校	2	武蔵野小学校	2
大塚小学校	2	泉小学校	1
月越小学校	2	古谷小学校	2
南古谷小学校	2	牛子小学校	1
高階小学校	2	高階南小学校	1
高階北小学校	3	高階西小学校	2
寺尾小学校	1	福原小学校	2
大東東小学校	1	大東西小学校	1
霞ヶ関小学校	2	霞ヶ関南小学校	1
霞ヶ関東小学校	1	霞ヶ関西小学校	2
名細小学校	4	広谷小学校	1
山田小学校	2		

(中学校)

学校名	学級数	学校名	学級数
初雁中学校	2	富士見中学校	2
城南中学校	1	東中学校	1
南古谷中学校	1	高階中学校	2
寺尾中学校	1	砂中学校	1
福原中学校	1	大東中学校	1
霞ヶ関中学校	1	霞ヶ関東中学校	1
霞ヶ関西中学校	1	名細中学校	2
山田中学校	1		

3. 弱視特別支援学級：視覚障害のある児童を対象に設置

学校名	学級数
川越西小学校	1

4. 肢体不自由特別支援学級：身体に関する障害のある生徒を対象に設置

学校名	学級数
富士見中学校	1

通級指導教室

学校名	学級数	対象
川越小学校	3	通常の学級に在籍している言語や聴覚に軽度の障害がある児童
霞ヶ関小学校	2	
中央小学校	3	通常の学級に在籍している軽度の発達障害や情緒障害がある児童生徒
高階小学校	2	
霞ヶ関小学校	2	
名細小学校	1	
富士見中学校	2	
高階中学校	1	

特別支援学校

- 昭和39年4月 川越市立養護学校として開校（小学部、中学部、高等部を漸次拡張）
- 昭和47年4月 県立川越養護学校開校に伴い、小学部、中学部を県立に移管する。
- 平成22年4月 川越市立特別支援学校に名称変更（現在の対象は、高等部のみになっている。）

Ⅱ 学校教育 市立川越高等学校

6. 市立川越高等学校 Tel : 049-243-0800 E-mail : kawagoekou@city.kawagoe.saitama.jp

- (1) 名称 川越市立川越高等学校
- (2) 所在地 旭町2-3-7 (電話 049-243-0800・ファクス 049-247-6828)
- (3) 沿革

市立川越高等学校は、平成14年度に川越商業高等学校から校名変更し、同時に普通科・情報処理科・国際経済科の3学科に再編を行った。

普通科では、ここ数年、大学・短大の現役進学率が65%前後となり、商業系学科では「川商」創立から96年の歴史と伝統を活かし、引き続き専門資格の高い取得率と進学・就職実績を上げている。

卒業生は2万6千人を超えており、さまざまな分野で活躍をしている。

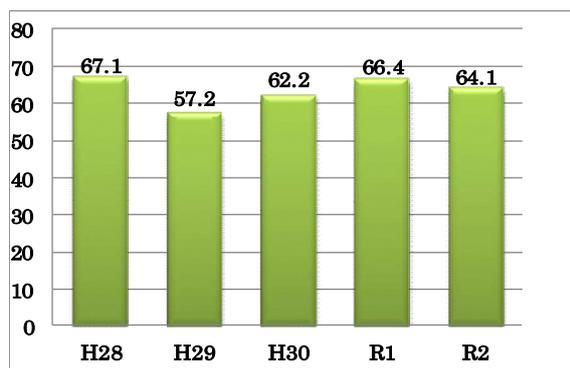
(1) 進路希望の実現

【令和3年度活動予定】

- ・平成24年度の1年生から導入したすべての学科の35人少人数学級編制及び入学者選抜における「地域特別選抜」を引き続き実施する。
- ・3年生では進路希望に合わせた科目を選択し、一人一人にきめ細かな学習指導を実施する。

【令和2年度活動実績】

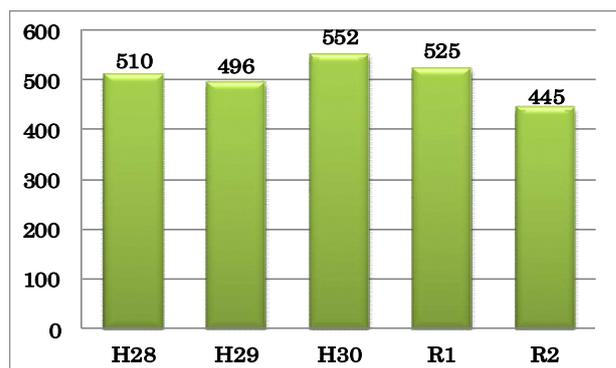
進路指導実績 (下グラフ:普通科の大学・短大進学率)



○主な進学先 (令和3年3月実績)

慶應義塾大、法政大、学習院大、成蹊大、武蔵大、日本大、東洋大、大東文化大、亜細亜大、帝京大、東京経済大、獨協大、大妻女子大、東京家政大、女子栄養大、玉川大、昭和女子大、日本体育大、上智短大、埼玉医科短大、他

検定試験1級合格者数



検定種目(8種):簿記、情報処理(ビジネス情報・プログラミング)、ビジネス文書、電卓、英語、商業経済、珠算

○主な就職先 (令和3年3月卒)

(株)武蔵野銀行、埼玉縣信用金庫、飯能信用金庫、(株)東和銀行、(株)足利銀行、日本郵便(株)、西武鉄道(株)、大日本印刷(株)、(株)そごう西武、(株)シード、全薬工業(株)、内閣府、総務省、東京都庁、埼玉県庁、川越市役所、朝霞市役所、他

(2) 部活動の充実

【令和3年度活動予定】

- ・文化部と運動部で合計33部が、より高い水準をめざして活発に活動を続けている。生徒が主体性を持ち積極的に活動できるよう、充実した指導を行っていく。

【令和2年度活動実績】

ア 運動部

① 野球部

令和2年度秋季埼玉県高等学校野球大会 ベスト16

②バレーボール部（女子）

令和2年度埼玉県学校総合体育大会高等学校バレーボール夏季大会 ベスト8

全日本バレーボール高等学校選手権大会埼玉県予選会 ベスト8

③バスケットボール部（女子）

全国高等学校バスケットボール選手権大会（ウィンターカップ）埼玉県予選 ベスト8

④ソフトボール部

令和2年度高等学校女子ソフトボール新人大会兼全国高等学校選抜大会埼玉県予選 4位

東日本高等学校女子ソフトボール大会出場権獲得（大会自体は中止）

⑤体操部

埼玉県高等学校体操競技新人大会 女子団体総合5位

⑥チアダンス部

全日本チアダンス選手権大会 決勝大会

P o m部門 高校生L a r g e編成 1位（全国）

イ 文化部

①写真部

第44回全国高等学校総合文化祭高知大会「2020こうち総文」（W e bにて開催）

・・・1点出展（文化連盟賞受賞）

第27回関東地区高等学校写真展（W e bにて開催）・・・2点出展

②O A部

関東地区高等学校ワープロ競技大会 第42回初雁杯

日本語ワープロ 団体の部 優勝

個人1年生の部 2位1名、3位2名、4位1名

個人2年生の部 2位2名、3位2名

③吹奏楽部

第9回シンフォニック&ポップスコンテスト 全国大会 出場（銀賞受賞）

（3）中高連携の推進

【令和3年度活動予定】

- ・市内中学校3校（高階中、砂中、福原中）と市立高等学校では、川越市の教育の一層の充実を図るため中高連携に取り組んでいく。職員、生徒、保護者の連携を図り、特色ある教育活動を通して、その検証結果をもとに、市内中学校や高等学校に、その成果を普及させ、更なる先導的な役割を果たしていく。

【令和2年度活動実績】

- ・連携校の砂中学校、高階中学校、福原中学校とともに、I C T、視聴覚素材を利用した連携として、交流の方法を研究する取組を行った。本校においては連携校を含む学校説明会（10月24日、11月14日、12月5日）で自校作成のD V Dと放送設備の利用で感染症の防止を図りながら、説明会を実施する方法を探った。また、個別の取組の一つとしてZ o o mなどの交流ソフトを利用して、進路指導に役立てる取組も行った。